

平成27年度スポーツ庁委託事業

長崎県武道等指導充実、資質向上支援事業 事業報告書

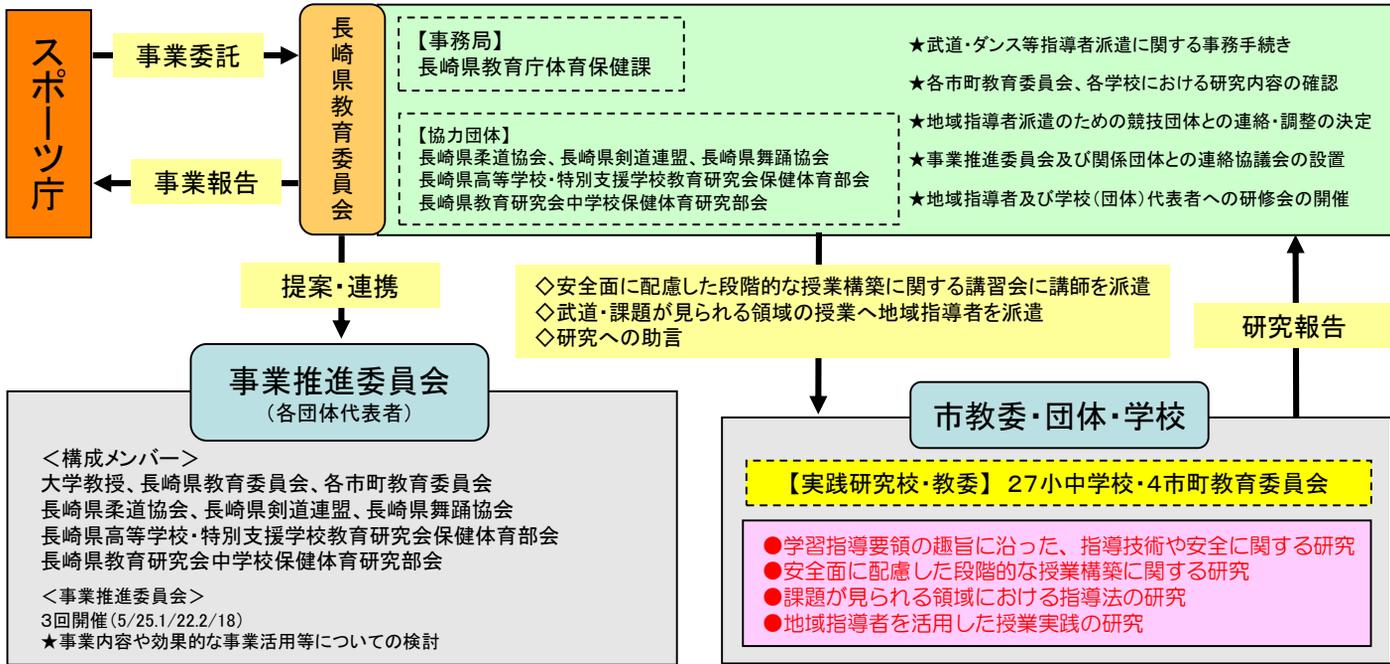


長崎県教育委員会

事業の目的

長崎県における武道等の指導の充実及び教員の資質向上・指導力強化を図ることを目的としています。主に発達の段階に応じた安全面に配慮した学習指導の展開と、長崎県として課題が見られる領域について、指導に不安を感じている教員の指導力の向上を図ります。

研究組織



今年度の取組

中学校の武道授業における指導力の向上や安全面への配慮等についての研修会、課題が見られる領域への地域指導者の授業への派遣など、各競技団体の協力により実施する。

また、本事業の趣旨及び協力体制については、各競技団体と事業推進委員会・連絡協議会を通じて共通理解を図り、スムーズな事業推進を図る。

さらに、各市町教育委員会指導主事及び郡市研究部会代表者を各学校、各地区における保健体育科指導のミドルリーダーとして育成し、武道指導マイスターとすることで、武道等の領域を通じて体育学習の活性化、教員の資質向上・指導力強化を図る。

- ① **アドバイザー派遣** (安全面に配慮した段階的な授業構築に関する講習会)
- ② **サポーター派遣** (小中学校の武道等・課題が見られる領域の授業協力)
- ③ **関係機関・競技団体との連携** (事業推進委員会・連絡協議会の開催)
- ④ **マイスター研修会** (各地区におけるミドルリーダーの育成)

実践事例

① アドバイザー派遣 (安全面に配慮した段階的な授業構築に関する講習会)

- (1) ねらい
学習指導要領の趣旨に沿い、技術や安全に関する教員向けの研修を実施し、教員の指導力向上と体育授業の改善を図る。
- (2) 派遣対象
①市町教育委員会及び体育科研究会等企画の研修会
②学校の自主企画による研修会

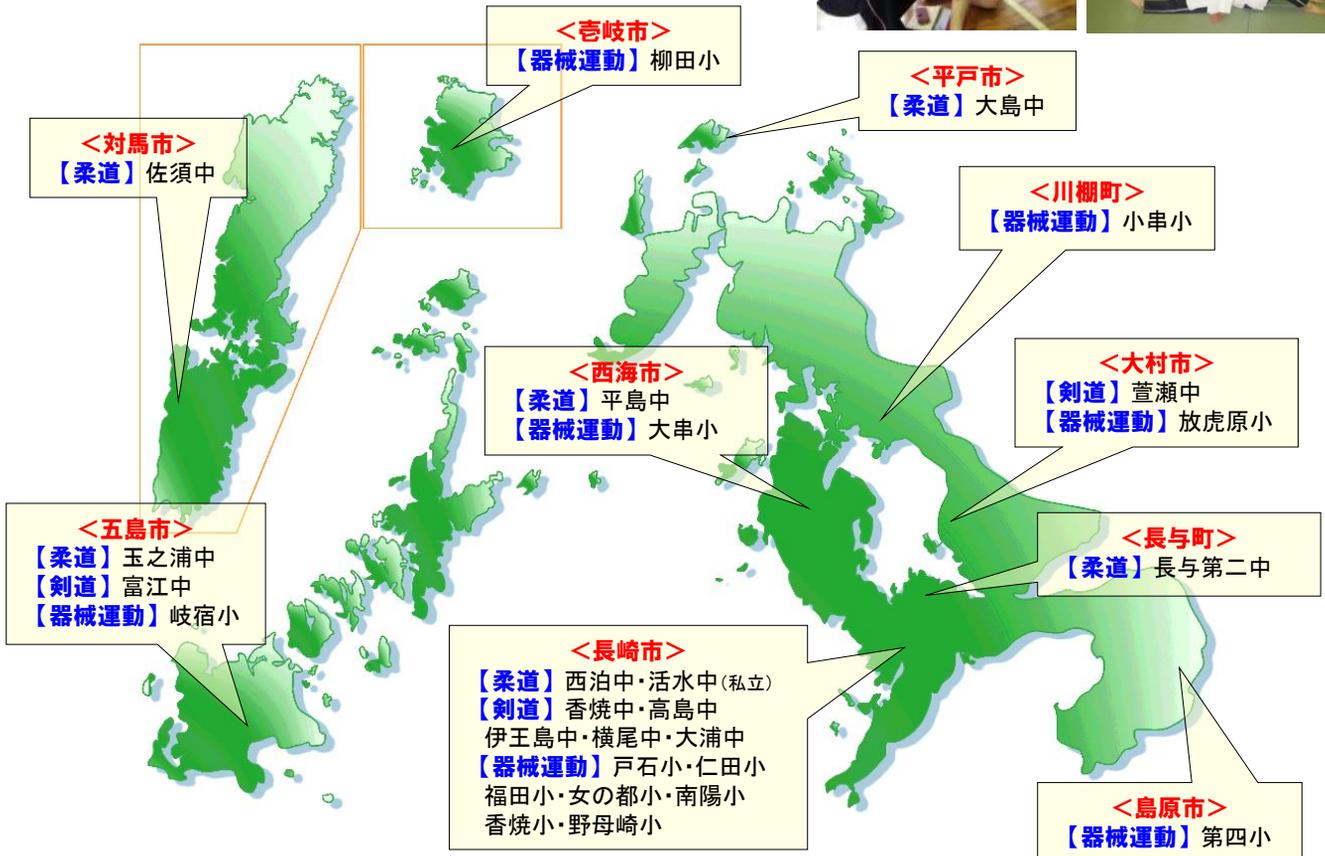
領域	種目	開催市町	参加数
武道	剣道	五島市	11
		新上五島町	9
ダンス	現代的	五島市	11
		雲仙市	35



▲新上五島町での剣道研修会の様子

② サポーター派遣 (小中学校の武道等・課題が見られる領域の授業協力)

- (1) ねらい
武道及び課題が見られる領域について、地域指導者(保健体育退職教員や競技団体指導者等)を学校の希望により小学校・中学校の体育授業へ派遣し、保健体育科教員(T1)の計画に基づきT2として運動の示範、安全面に配慮した段階的な指導方法を用いた支援・運動の技能のポイントやコツの例示を行うことで、教員の資質向上・指導力強化を図る。
- (2) 派遣対象
小学校の器械運動、中学校の武道授業
・器械運動単元への派遣(7市町13校)
・柔道、剣道単元へ派遣(7市町柔道7校:剣道7校)



（1）事業推進委員会の開催

大学教授、各市町教育委員会学校体育主管課担当者、関係団体者代表等からなる推進委員会を設置し、事業内容や効果的な事業活用等について検討するとともに、事業の充実に向けて情報交換、事業成果の県内各学校への普及等を行う。

※ 推進委員20人 年間3回

（2）連絡協議会等の開催＜年間計4回＞

地域指導者同士の情報共有や指導力の向上を図るために、連絡協議会を開催する。なお、その際、発達の段階に応じた安全面に配慮した指導方法等専門の講師を招聘した講義も計画する。



4 マイスター研修会（ミドルリーダーの育成）

（1）ねらい

本県の保健体育科の指導に関する調査では、「保健体育の授業に自信がない」と答える教員が多く、特に武道・ダンスに関しては顕著である。

そこで、各市町教育委員会指導主事及び郡市研究部会代表者を各学校、各地区における保健体育科指導のミドルリーダーとして育成し、武道指導マイスターとすることで、武道等の領域を通じて体育学習の活性化、教員の資質向上・指導力強化を図る。

※ 年間2回（3地区×1回、全体会1回）実施

（2）内容

- 1回目：講義「学習指導要領及び同解説の理解、評価」
講義・演習「単元構造図の作成方法について」
- 2回目：講義・演習「指導案の作成について」
長崎市立山里中授業（柔道）視察・授業研究



「指導要領の理解や指導案の見方など、とても勉強になりました。このような内容は全ての教員が望んでいることだと思います。自分も自信ができました。」
中学校教員



受講者アンケート

サポーター派遣事業（柔道・剣道・器械運動）

「中学校の柔道に授業で一番分かりやすかった。技だけでなく柔道について詳しく教えていただき、柔道のことがよく理解できました。」中3女子

「分かりやすく楽しい授業でした。一人一人のレベルに合わせて指導して下さったので剣道の楽しさやおもしろさを感じられました。」中1男子

「とても楽しかったです！苦手だった跳び箱の技ができた時、サポーターの先生に「おめでとう！」と言ってもらったのが特に嬉しかったです。」小6女子

「サポーターの先生はすごいなおもいました。たいそうがきれいで、とてもすごかったです。わたしもあんなになりたいです。」小2女子

実技研修会（柔道・剣道・ダンス）

「ダンスの本質から御説明いただき、ますますダンスに興味を持つことができたと同時に、生徒にも早く教えたい！ダンスの授業を早くしたい！と思いました。道具を使うことで全身をダイナミックに動かすことなど、とても参考になりました。観ている方も感動しました。」中学教員女性

「これまでも剣道の授業を行ってきたが、細かいところまで教えすぎていたということが今回の研修でわかった。限られた授業計画の中で指導する内容を厳選していかねばならないことが分かってよかった。」中学教員男性

「御指導いただいたことを残しておきたいと思いパソコンに向かいました。改めて豊富な内容であることに気付きました。柔道を専門にしたことがない者にとって、崩しの行い方が今ひとつ分かりにくいところでしたが、今回の研修で理解を深めることができました。」中学教員男性

成果と課題

（1）成果

- ・武道・ダンスの研修に多くの教員が参加することができ、指導力向上及び意識を高めることができた。
- ・武道やダンスの研修を通じて、他領域も含めて学習指導要領の理解度を高めることができた。
- ・指導に対して苦手意識を持つ教員が、前向きに指導してみようという気持ちを持つことができた。
- ・研修会や授業協力に対して、競技団体の強い理解と協力を得ることができた。
- ・各地区のミドルリーダーの教科指導力の向上を図ることができた。

（2）課題と今後に向けて

- ・悉皆研修を受講するという意識が終了したため、受講者が減少する恐れがある。
- ・今後も市町単位の研修会を積極的に開催して欲しい。
- ・マイスター研修会を引き続き実施し、各地区のミドルリーダーを育成したい。

